

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	農村広場(春おか広場)
(2)施設概要	①所在地 さいたま市見沼区宮ヶ谷塔765番地 ②施設の設置目的 農業経営の改善及び農業従事者の福祉の向上を図るとともに、地域住民との交流を深める。 ③施設の概要 面積 約37,000㎡ 主な施設 農業者総合研修施設(多目的ホール、会議室①、会議室②、会議室③、和室、生活改善室)、運動広場(ソフトボール場、多目的広場)、花畑、芝生広場
(3)指定管理者	毎日・首都圏共同事業体
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和3年度20,900千円／令和4年度21,020千円／令和5年度20,569千円
(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 38,235人(前年度32,658人) ◇業務実施状況 施設運營業務 ・施設の貸出業務 施設維持管理業務 ・施設及び設備の維持管理及び保守点検に関する業務 ・植栽管理及び除草業務 その他の業務 ・設置目的達成に向けたPR・広報に関する業務 ・自主事業(定期教室、イベント、物販、その他) ②維持管理業務の状況 ◇保守管理業務 ◇日常清掃業務 ◇定期清掃業務 ◇植栽管理業務 ・芝生、植栽、花畑、樹木剪定等
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 1,188千円 (前年度 1,045千円) ・指定管理料 20,569千円 (前年度 21,020千円) ②支出 ・人件費 12,315 千円 (前年度 11,411千円) ・事務費 580千円 (前年度 642千円) ・施設管理費 7,302千円 (前年度 7,326千円) ・事業費 613千円 (前年度 1,542千円) 【自主事業】 ①収入 2,995千円 (前年度 1,710千円) ②支出 2,279千円 (前年度 1,401千円)

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	6月・12月にアンケートを実施し、意見を聴取した。スタッフの対応・清掃状況においては、すべての回答者に「非常に良い・良い」の評価をいただくことができた。備品・消耗品の要望については購入・追加を検討し、対応に努めた。
(8)その他	夜間の駐輪場周辺の安全確保のため、駐輪場の照明交換工事を行った。

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設の認知度向上・広報 (案内パンフレット作成、ホームページ・SNSの活用)	施設の認知度向上のため、パンフレット、ホームページ、SNS等の活用その他、周辺地域へのチラシ配付や、地域新聞社での誌面掲載やWeb掲載を実施した。徐々に施設を認識いただいたことで、施設利用者数・利用件数の向上に繋がったと考える。
自主事業の開催 (定期教室、イベント、物販、その他)	月1回程度、さいたま市産の農産物を使用した料理教室を開催することで、多くの方に農産物への興味関心を持っていただいた。また、多目的実習室の稼働率向上、小さいお子様の利用機会を増やすことができた。 子ども向けチアダンス教室や太極拳の定期教室を新たに開催し、子どもからシニアの方まで幅広い世代の方にご利用いただける機会を創出することができた。 前年に開催した「春おか祭」を8月に開催し、施設の認知度向上・利用促進その他、地域の団体との連携強化を図ることができた。
花畑の活用・農業関連事業 (農業体験、養鶏エリア設置、野菜市開催等)	花畑の一部を農業体験エリアとして整備し、親子向け農業体験事業を2回開催した。実際に土や野菜に触れる機会を創出し、農業や地産地消への興味関心を増やすことができた。また、養鶏エリアにて2羽の鶏を設置し花畑の活用を進めた。名前の一般公募を行い、利用者と共に施設を創る機会を創出することができた。 毎週土曜日に地元農家の方々に協力いただき、野菜市を開催した。参加農家数も増え、賑わいと品数を増やすこともでき、農業・農産物への関心を高めることに繋がった。

3 評価

(1)指定管理者による評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取り組み 市民の平等利用のため、施設貸出や利用に関する案内、電話対応、掲示等、わかりやすく丁寧に行うことを心がけた。前年度より導入された公共施設予約システムについても徐々に浸透してきており、新規利用者にはスタッフが丁寧な案内を行った。多目的実習室の利用促進のため、料理教室の開催や利用団体への案内を実施し、前年度より稼働を増やすことができた。 ②経費削減に関する取り組み グリーンカーテンの設置やこまめな消灯等によりエネルギー使用を抑える取り組みを実施した他、消耗品等の購入においては十分に検討し、必要品の選定を行うことで支出を抑制した。一方で定期点検や作業は計画通り実施し、安全管理を徹底した。 ③適正な管理運営の確保に対する取り組み 前年度の課題解決のため、方法や人員配置を模索し、管理作業やイベント開催において効率的な管理運営に努めた。定期的に運営会議を開催し、課題解決方法の検討や情報共有を行い、利用者サービス向上に努めた。担当課への報告、相談も適宜行い、アドバイスをいただきながら適正な管理運営を確保することができた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:経済局農業政策部見沼グリーンセンター)

総合評価(B)※A～D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取り組み

市民の平等利用に関する取り組みについては、特定の利用者のみを特別扱いせず、目的意識を持って全ての施設利用者に対して平等に接するとともに対処していた点が評価できる。

市民サービスの向上に関する取り組みについては、主に会議室等の貸出や利用に関する案内、電話での対応、掲示等をわかりやすく表示するなど、施設利用者の立場に立った丁寧な接遇を心掛けるとともに、常時、施設を気持ちよく利用できる環境づくりに取り組んでいた点が評価できる。

利用促進に関する取り組みについては、昨年に引き続き、施設入口にデジタルサイネージを導入し、活発にイベント情報等を発信していた点、稼働率の少ない時間帯に自主事業を実施し、稼働率向上に努めていた点が評価できる。また、自主事業においては、新しい取り組みを企画、実施するなど、より一層の施設利用促進に寄与していた点も評価できる。

②経費削減に関する取り組み

主にグリーンカーテンの設置やこまめな消灯等によりエネルギー使用を抑える取り組みを実施した他、消耗品等の購入においては、十分に検討し、必要品の選定を行うことで支出を抑制した点、また、安全管理の徹底にあたり、計画的に定期点検や諸作業に取り組み、実施していた点は評価できる。

一方、一部の自社対応業務では、仕事の精度を保持する観点から、自社対応が厳しい場合は、第三者への委託も視野に入れながら実施することが望ましかった。

③適正な管理運営の確保に対する取り組み

定期的に運営会議を開催し、課題解決に向けた検討や情報の共有化を図り、利用者へのサービス向上のため、より良い施設運営に寄与した点、また、連絡体制の強化促進に重きを置き、担当課への報告、相談等を適宜実施し、適正な管理運営の確保に努めた点も評価できる。

2 総合評価

市民サービスの向上、利用促進に関する取り組みに対して重点的に努め、結果も出ている。管理運営についても概ね仕様書・事業計画等に沿って行われており、総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

市民サービスの向上、利用促進に関する取り組みのより一層の充実化を図るとともに、課題解決など、更なる適正な管理運営に向け指導徹底に努める。